

【診療科:血液腫瘍内科】

【レジメン登録番号:IG-100】

〈 R-maxi-CHOP療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)														
			1	2	3	4	5	15	21						
リツキシマブBS	375mg/m ²	div	○														
アドリアシン	75mg/m ²	div		○													
エンドキサン	1200mg/m ²	div		○													
オンコビン	2mg/body	div		○													
プレドニン	100mg/body	p.o.	○	○	○	○	○										

【1コース期間:21日】

【総コース数:R-HDCA療法と交互に3コース繰り返す】

【適応癌種:CD20陽性B細胞型 マントル細胞リンパ腫】

【時期:術前、術後 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ホラミン 1A	div(全開で)
	ソル・コーテフ(100mg) 1V	
	生理食塩液 50mL	
Rp.2	リツキシマブBS 375mg/m ²	div(添付文書 参考に)
	生理食塩液 500mLで10倍希釈	

<day2>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ RB 1A	div(全開で)
	生理食塩液 50mL	
Rp.2	オンコビン 2mg/body	div(全開で)
	生理食塩液 50mL	
Rp.3	アドリアシン 75mg/m ²	div(30分かけて)
	5%Glu 100mL	
Rp.4	エンドキサン 1200mg/m ²	div(2時間かけて)
	生理食塩液 500mL	
Rp.5	生理食塩液 50mL	div(全開で)

【参考文献:blood 2008; vol 112: 2687-2693.】

【備考:リツキシマブBS投与の30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等の前投与を行うこと。

また、副腎皮質ホルモン剤と併用しない場合は、副腎皮質ホルモン剤の前投与を考慮すること。】

【変法情報①:腫瘍崩壊症候群の防止のために、初回はリツキシマブBS抜きのmaxi-CHOP療法となることがある。】

【変法情報②:day2をday1やday3に振り替えて投与することがある。】